



愛知陸協広報

第 22 号

平成 23 年 6 月 30 日発行

愛知陸上競技協会

〒460-0012 名古屋市中区千代田二丁目 19 番 16 号千代田ビル 7F

電話 (052) 249-4363 ファックス (052) 249-4366

e-mail ark@marble.ocn.ne.jp

ホームページ: url http://www.aichi-rk.jp/

試練の向こうに飛躍が——23 年度を迎えて

会長 梅村 清弘



日本中が、東日本大震災・原発事故への対応に追われるなか、新しいシーズンがスタートしました。愛知陸協にとっても、「名古屋国際女子マラソン」としては最後となる開催日を 2 日後に控えていただけに、中止決定とその事後処理に、あわただしい日々でした。その大会が、ご承知のように「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知」として衣替えします。そして女子のみのレースとしては世界最大規模の「名古屋ウィメンズマラソン」が、大震災発生ちょうど 1 年後の来年 3 月 11 日に開催されることになりました。男女参加のファミリージョギングやハーフマラソン等を含めた 3 日間にわたるイベントは、準備と運営にあたって、私どもに、これまでで最大の試練が課せられることが予想されます。この大会のみならず、どんなイベントにも解決すべき課題、問題は生じてくるものですが、陸上競技に対する情熱、愛着をもってすれば、きっと道は拓けてくるでしょう。そして、「次」への大きなステップとなるはず

今夏の世界選手権（韓国・大邱）、2012 年のロンドン・オリンピックと世界を舞台とした競技会が続きます。ポスト・ロンドンに向けた若い選手層の育成、選手強化にも、引き続いて地道な努力が必要とされるでしょう。昨年度、ジュニア・ユースの全国大会が名古屋市で開催されました。ジュニアの全国大会は名古屋で生まれて以後、10 回大会まで連続開催し、昨年度は 16 年ぶりの里帰りでした。これを機に、本年度も含めて 5 年連続の名古屋開催というスケジュールが決定し、名古屋が、全国の有望なジュニア・ユースの集う拠点となります。若い力を育てるには願ってもないチャンスと考えています。そのうえ、今年は日・韓・中のジュニア交流競技会も名古屋で開催されます。協会の登録会員数は着実に増え、中でも、中・高校生若手層の増加は、明るい材料です。

昨年 11 月に開かれた当協会の「日本ジュニア・ユース主任者反省会」の資料に目を通しました。そこには、それぞれの部署で大会に携わった方々から寄せられた問題点と改善点が、実に細部にわたって記録されています。その一つ一つに、私自身、改めて多くのことを教えられました。立場を異にした目で物事を見ることの大切さは、いまさら申し上げるまでもないかもしれませんが、今後の大会運営に生かしていただきたいと思います。ジュニア・ユース全国大会をはじめ、近年、全日本マスターズ、レディースなど、各種の大会を通して培ってきた貴重な経験を踏み台とし、これからの大会の成功とさらなる飛躍に向けて、一層のご尽力を願っております。

新年度を迎えて

理事長 外山 幸男



2011 年名古屋国際女子マラソンは、東日本大震災により中止となり、大会で使用予定であったウインドブレーカー等では中日新聞社から東海市を通じていち早く被災地に送られました。日本陸連「みんなのこのたすきリレー JAAF」には陸協事務所に保管のウインドブレーカー、T シャツ等を送りました。陸協主催の大会で義援金の協力もお願いし、みなさまの暖かい気持ちを日本陸連、愛知県体育協会を通じて届けております。節目の女子マラソンは中止となりましたが、2012 年からは、装いも新たに、「名古屋ウィメンズマラソン」として 1 万 5 千人の女性のマラソンとなります。名古屋シティマラソンの 1 万 5 千人を加え 3 万人を超える規模で実施します。愛知陸協最大の行事として、成功のため最大限の取り組みをしていきます。多くの選手が出場し、長時間の交通規制により行なわれず、競技役員もこれまでの 2 倍近い協力によりはじめて運営が可能となります。来年の 3 月 11 日は是非とも大会の運営・競技役員として協力をお願いします。

定時評議員会で、平成 22 年度の事業・決算、平成 23 年度の事業計画・予算案が承認されました。平成 22 年度の登録会員数は、16,715 人、公認審判員は 998 人です。皆様方のご協力のもと、東日本の復興を願いつつ陸上競技に取り組むことができる現状に感謝し、今年度もさらに愛知陸協の発展に努めて参ります。

本年度第 1 の課題は、愛知陸上競技協会の一般財団法人化です。準備委員会はスタートし、年度内の法人化を目指していきます。ご理解をお願いします。第 2 は、昨年に引き続き 10 月に開催する第 27 回日本ジュニア選手権大会・第 5 回日本ユース選手権大会を成功させることです。昨年の大会では、愛知の 3 選手が優勝し、各方面から高い評価をいただきました。日本陸連をはじめご協力いただいた関係者の方々、競技役員に感謝申し上げます。昨年の反省をもとに、さらに新記録の生まれる大会をめざしていきます。愛知の選手の活躍と高校生、中学生、小学生の目標となるそのためには全国レベルの大会運営に要求される審判技術の向上にも取り組んでいきます。

8 月には東海中学総体、第 19 回日・韓・中ジュニア交流競技会、第 54 回東海陸上競技選手権大会と東海小学生リレー大会が瑞穂競技場で開催されます。9 月には全国ろうあ者大会がウェーブスタジアム刈谷で開催されます。好記録を期待するとともに、出場選手の思い出に残る大会となるよう、競技役員のご公正な判定と暖かい心配りをお願いします。

JAAF ジュニア発掘育成プロジェクトは、U-12（小学生）を対象として、11 月 20 日に瑞穂で陸上教室が実施されます。「小学生友の会」の充実を願い、平成 25 年に愛知で開催予定の全日本中学校総合体育大会の強化にも繋がるものと期待しています。

本年も、世界選手権大邱大会、アジア選手権神戸大会において、愛知の選手が日本代表として活躍すること、また高校生、中学生が全国大会で夢に向かって努力してくれることを期待しています。さらに、2 年連続入賞を果たした都道府県対抗女子駅伝チームは、頂点に立つ年になる活躍を期待しています。

“マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知” いよいよスタート

昨年より、名古屋国際女子マラソンと名古屋シティマラソンの両大会を統合した大規模マラソンを目ざして検討を重ねてきましたが、大会内容が固まってきました。これを受けて「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知2012」の第1回組織委員会・実行委員会が5月2日に名古屋観光ホテルにて開催されました。

主催の(財)日本陸連河野洋平会長をはじめ、8名の各委員長、中日新聞社の白井会長、大島社長及び関係各位、大村県知事、住田名古屋副市長他多くの方々の出席のもと大会要項(案)について説明され、承認されました。主管する愛知陸協からは梅村会長、國分名誉副会長、村瀬副会長、外山理事長、稲垣副理事長他役員が出席しました。

開催日は平成24年3月9日(金)～11日(日)の3日間。ナゴヤドームを主会場に、3月9日はマラソンに関するステージイベントやトークショー。3月10日はファミリージョギング。そして3月11日は、名古屋ウィメンズマラソン2012が15,000人以上の規模で世界初となるエリートランナーと一般ランナーによる女子だけのフルマラソンとして開催されます。同時に男女ハーフマラソン、男女10kmが開催されます。

今後、より詳細な内容については、会報などを通じお知らせしてまいります。格別のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



会議終了後、日本陸連河野会長を囲んで出席した愛知陸協各役員

支部報告

名古屋支部

平成23年度のシーズンも、4/2・3(土・日)の第1回支部陸上大会で幕開け。4/3には、平成22年度の支部表彰として、合計18名の選手・指導者・審判員が表彰されました。この制度は平成15年度から始まり、今年度で8年目です。過去の受賞者は、いずれも支部の発展に貢献し、県・東海・全国へと活躍してくれました。22年度受賞の選手諸君も、一層活躍されることを願っています。

すでに高校生諸君は、全国IHへの出場者も決まり、各々の目標に向かい、最後の追い上げの時期と思います。惜しくも敗れた方は、秋のシーズンを目ざして再度の「ビルドアップ」に努めてください。大学・一般の方は、日本の代表を目ざして一層の健闘を望みます。今年度、瑞穂競技場でU-12の陸上教室が開催されます。2年後の平成25年には、全国中学校大会の開催も予定されています。小中学生は、次世代の日本のトップを目ざし、基礎練習に励んでください。

1 支部役員組織は、4/25の理事会・5/11の代表委員総会で最終承認を受け、専門委員会を中心に支部活性化を大目標に掲げ、青木実新理事長の下にスタートしました。同時に、名古屋市陸協の役員(23名)、愛知陸協への役員(17名)も承認されました。予算面では、今まで以上に強化普及費が増額され、備品費の項目が新設されました。知多競技場のコピー機も更新されました。新たに、支部競歩教室も計画していきます。

支部長・坂井田醇三	顧問・竹内信雄	理事長・青木実
副理事長(3名)	水野隆夫、植田准次、砂子間英明	
常務理事(6名)	桑原義貴、小森好治、鈴木 潔、木全和代、水谷正夫、大野木伸幸	
理事(23名)	うち追加新理事〔谷口直土、高橋直之〕	会計、秘書、監事は今まで通り

2 今後の予定(7～10月)

- ① 8/20・21(土・日)名古屋市民スポーツ祭 (瑞穂)
 ② 9/17・23(土・金)名古屋支部中学新人大会 (17瑞穂、23知多)

- ③ 10/1・2(土・日)名古屋支部選手権大会 (瑞穂)
 (坂井田醇三)

尾張支部

23年度支部活動について

平成23年度の尾張支部関連事業は、別表のとおりです。すでに4月2日(土)、3日(日)には第1回記録会が実施されました。2日間それぞれの競技に、シーズン初めの思いを託して競技されたことと推察します。

さて今シーズンは、これまでのシーズンに増して登録団体数、登録者数共に増加しています。競技場が整備されたこと、公認記録がとりやすくなったこと、指導者の方々の層の厚さと指導力の向上等、様々な要因が重なっての充実だと考えております。

今年度から新たな試みも始めました。愛知陸協のWEBサイトに尾張支部の大会要項をアップし、結果もなるべく早くアップできるように関係者に協力を依頼しました。さらに陸上競技に関する支部情報を充実させていきたいと考えております。いろいろなご意見やご提案をいただくと幸いです。

まだまだシーズンは始まったばかりですが、中高生をはじめ、スポーツクラブの小学生、大学・一般競技者の選手の皆さん!自己への挑戦、スポーツへの感動の味わい、そして競技ができる喜びなど、より一層の向上心を持って活躍されることを祈っています。

<平成23年度尾張支部事業>

開催日	競技会・行事	申込締切日時	プログラム編成日時
6月4日(土) 5日(日)	愛知陸上競技選手権大会 尾張支部予選会	5月19日(木)	5月21日(土)
6月4日(土) 5日(日)	愛知県中学通信陸上競技大会兼 混成競技会尾張支部予選会	5月18日(水)	5月21日(土)
6月4日(土) 5日(日)	愛知県小学生リレー競技大会 尾張支部予選会	5月19日(木)	5月21日(土)
8月20日(土) 21日(日)	第2回尾張支部記録会	8月2日(火)	8月6日(土)
10月1日(土) 2日(日)	尾張陸上競技選手権大会	9月13日(火)	9月17日(土)

10月30日(日)	尾張支部中学新人陸上競技大会兼 第3回尾張支部記録会	10月11日(火)	10月15日(土)
1月22日(日)	尾張駅伝競走大会	1月9日(月)	1月10日(火)
3月18日(日)	尾張支部総会および 審判講習会	3月18日(日) 実施	一宮市民会館2F
12月10日(土)	第1回尾張支部陸上教室	後日要項掲載予定	
1月7日(土)	第2回尾張支部陸上教室	後日要項掲載予定	
2月4日(土)	第3回尾張支部陸上教室	後日要項掲載予定	
10月16日(日)	愛知スポレク陸上大会 マスターズ陸上大会	後日要項掲載予定	

(原川 豪)

西三河支部

4月9日・10日の西三河支部記録会を皮切りに、西三河支部の活動が本格的に始まりました。新体制で臨む本年度、重点課題として、次の2点に取り組んでいきたいと考えています。

1点目は、競技会全般の運営についてです。支部内で開催される競技会の参加者数が年々増加し、タイムテーブル

の過密化や競技会終了時刻の遅れといった問題が生じてきています。そこで、米年度の競技会を視野に入れて、開催種目、参加資格、競技開始及び終了時刻等について検討し、無理のない、より良い競技会を開催できるようにしたいと考えています。

2点目は、愛知陸協のホームページの活用についてです。現在、大会要項は要覧として一括配布しています。また、競技会のタイムテーブルについては、その都度郵送しています。個人登録者も多く、その数は膨大なものとなっています。そこで、愛知陸協のホームページを活用し、大会に関する情報を正確かつ迅速に知らせていく最適な方法を考えていく予定です。タイムテーブルについては、現在すでに試験的に運用を開始しています。

新体制でスタートした23年度には上記の2点以外にも、支部規約の検討、支部内にある四つの競技場の有効な活用方法等、課題は多くあります。これらの課題を解決し、選手一人一人が好記録を出せる競技会の運営を旨として、西三河支部の会員全員で力を合わせ取り組んでいきたいと思っています。

(櫻井 一美)

クラブ紹介①⑥ JAC 武豊



こんにちは、JAC 武豊です。1998年に小学4年生1名の会員とその親で発足した、地域スポーツクラブです。発足以来、子どもの親中心に活動してきました。友人をたよって仲間を増やし、2000年に初めて県リレー大会に出場しました。その大会の走幅跳で優勝し、その後3年連続で全国大会へ出場することができました。これで少し勘違いして、上ばかり目指すようになり、指導方法をめぐって混乱する時期がありました。一時は解散の危機もありましたが、「子どものためには親が頑張るしかない」と団結し、この危機を乗り越えました。

一生のうちで、親子が触れ合える時期は限られます。健脚自慢の親が子どもに勝てるのも小学生までです。「陸上競技を通して親子が共通の目標をもち、成果を共に喜び合おう」というのが、JAC 武豊の基本理念です。

【会 員】各種大会に参加し自己の記録に挑戦する「正会員」と、基礎体力向上を旨とする「準会員」で構成されています。保護者は準会員になります。さらに所属する武豊町スポーツクラブのメンバーをサポートしています。正会員は現在23名です。

【練習】毎週日曜日及び隔週土曜日の7:00～9:00の練習が基本になっています。希望者はさらに毎週木曜日19:00～21:00のナイター練習を行っています。練習場所は土、日が武豊小学校グラウンド（雨天時は体育館）、ナイターは半田運動公園です。

毎年5月4、5日に一泊二日で合宿を行なっています。会員相互の親睦を深めることと、崖をロープでよじ登ったり、砂浜でダッシュしたり、子どもが本来持っている潜在能力を引き出すことが主な目的です。

【指導者】数名の保護者OBで指導していますが、不在の場合は現役の保護者で指導します。器具の準備、ピストル打ち、タイム計測も保護者です。

【目 標】①大きな声で挨拶できる人間になること。②自分の目標を決め、それに向かって努力する人間になること。

JACで陸上を始めた子が中学・高校・社会人となっても陸上と関わってしてくれることが、指導者としての最大の喜びです。冒頭の小学4年生は、今年の4月から中学校の陸上部の顧問となり、早朝からグラウンドに出ています。



急な崖をロープで登る



砂浜で「ビーチフラッグス」

(代表 中川 剛夫)

東三河支部

平成 23・24 年度役員

支 部 長	夏目 輝久	
副支部長	白井 良三 始め5名	
理 事 長	兵藤 重二	
副理事長	仲井 雅弘	
理 事	小・中・高・一般・地区代表・女性の各理事を選出	
会 計	白井 忠彦・福田 勝顕	
秘 書	中西 征裕・白井 忠彦・山本 誠司	
専門委員長	総 務	山本 誠司
	競 技	市川 工
	審 判	山本 法史
	記 録	鈴木 信弘
	施 設	中村 昭広
	強 化	伊藤 博之
	マスターズ	杉山 成生

(平成 23 年 1 月 8 日 東三河支部理事会選出)

豊橋陸上競技場は、約半年間の工期を経て、トラック・フィールドのタータン部分全面張り替えを始め写真判定装置、ハンマー・円盤投げフェンス等を新しい物に取り替えました。

過日、第3種公認陸上競技場として、日本陸連の検定を通り、素晴らしい競技場として再生いたしました。

平成 23 年度は、4 月 9 日(土)・10 日(日)の第 37 回豊橋リレーカーニバル大会兼東三河陸上競技記録会をかわきりに、今シーズンをスタートいたしました。

【23 年度の目標】

- 競技場正面スタンド建設の早期実現。
- 全国大会・国際大会への出場。
- 強化事業への積極的支援。
- ジュニア指導と陸上競技人口の拡大。
- ホームページの運用とその活用。
- 情報処理設備の充実とその活用。
- 平成 25 年度、全日中(愛知)大会に向けて、小中学生の強化。
- 研究会・講習会へ参加して、指導者及び審判員の資質向上。

関係各位には、上記の目標が少しでも達成されますよう、積極的な参加とご支援をお願いいたします。

また、昨年にも増して各種大会の円滑な運営ができますよう競技役員としての出席をお願いいたします。

そして、陸上競技を通して、青少年の健全な育成を第一にお考えいただきまして、選手強化・陸上界の底辺拡大にご尽力いただければ幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

東三河支部の主な日程

数	大会名	月日	場所
1	豊橋リレーカーニバル兼東三記録会	4/9・10	豊橋
2	全三河長距離クラス別記録会	4/16	豊橋
3	東三河小中学校記録会	4/23	豊橋
4	県高校総体東三予選	4/30・5/1	豊橋
5	東三河中学校春季大会	5/21	豊橋
6	愛知県選手権兼国体東三予選	6/4・5	豊橋
7	全日中通信東三予選	6/11・12	豊橋

8	東三河中学校総合体育大会	7/22	豊橋
9	東三河高校1年生大会兼ジュニア記録会	7/24	豊橋
10	東三河中学ジュニア陸上競技大会	8/6	豊橋
11	全三河中学校陸上競技大会	8/27	蒲郡
12	県高校新人東三予選	9/3・4	豊橋
13	駅伝強化豊橋長距離記録会	9/17	豊橋
14	東三河小学生選手権大会	9/23	豊橋
15	東三河中学校新人陸上競技大会	10/8	豊橋
16	東三河陸上競技選手権大会	10/9	豊橋
17	東三河短距離記録会	11/3	豊橋
18	東三河中学校駅伝競走大会	11/5	新城
19	愛知県中学校駅伝競走大会	11/19	新城
20	第6回市町村対抗駅伝	12/3	万博公園
21	渥美半島駅伝競走大会	12/18	田原
22	全三河駅伝	1/8	蒲郡
23	第3回穂の国・豊橋ハーフマラソン	3/7	豊橋
24	東三河中学校合同合宿	3/19・20	蒲郡
25	東三河高等学校春季合宿	3/20～22	豊橋

(夏目 輝久)

専門委員会報告

総務委員会

今年度より、一般団体登録及び中学生でクラブ所属者の登録がwebシステム化され、登録方法が大きく変更されました。初年度でもあり、手続きに関する問い合わせが多く寄せられましたが、登録担当者の協力もあり、現在まで大きなトラブルもなく登録手続きが行なわれております。来年度は、学連を除きすべてweb化する予定です。不明な点がありましたら、遠慮なく愛知陸協事務局(052-249-4363 web担当飯田)までご連絡ください。5月の理事会・評議委員会を終え、平成23年度の予算・活動計画等が承認されました。今年度はマラソンフェスティバルナゴヤ・愛知をはじめ、日・韓・中交流、東海選手権、東海中学総体が地元で開催されます。また、昨年に引き続き全日本ジュニア・ユースも行なわれます。その他多くの競技会が計画されており、大変忙しい年度となります。愛知陸協の各審判員様には、絶大なるご協力をお願いいたします。特に3月11日(日)に行われるマラソンフェスティバルでは、700名近い審判員が必要となります。(昨年までは450名編成)女性審判員も例年以上に確保しなければなりません。重ねて各審判員のご協力をお願いいたします。(稲垣 裕)

競技・情報処理委員会

平成23年度は、日本ジュニア選手権、日本ユース選手権をはじめ、日・韓・中ジュニア交流競技会、全国ろうあ者大会、東海選手権、東海中学総体などの大会が愛知で開催されます。また3月11日(日)には、名古屋ウィメンズマラソンが開催されます。世界初の女性のみ1万5千人が参加する、国際レース(登録者)とフルマラソン(一般ランナー)が同時に開催される大会で、世界から大変注目されています。

競技・情報処理委員会では、例年実施している大会準備と並行して、10月の日本ジュニア・ユースに向けての打

学校紹介⑫ 光ヶ丘女子高校 西三河の強豪校

今回は、西三河支部で常に優勝争いを繰り広げている光ヶ丘女子高校を訪問しました。最近の支部大会での成績を拾ってみると、

	H21 総体	H21 新人	H22 総体	H22 新人	H23 総体
総合	2位	優勝 (111点)	優勝 (106点)	優勝	2位
トラック	2位	優勝	優勝	2位	2位
フィールド	2位	優勝	優勝	1位	2位

となっており、強豪校と言うにふさわしい活躍ぶりです。特に21年の新人戦と22年の総体では3けたの得点をあげており、その強さをうかがい知ることができます。顧問の大沼広吉先生のお話によれば、長年の西三河の大会でも3けた得点で優勝したのは初めてのことでないかとのことでした。県高校駅伝でも平成17年度以来6年連続で、6位以内の入賞(=東海大会出場)を果たしています。

これほどの活躍を見せるのですから、私はさぞかし設備の整った中でトレーニングがなされているのだろうと思っていました。また、顧問の先生の指導のもと、ハードなトレーニングが行なわれているのだろうと思っていました。そんな思いをいできて訪問したところ、私はあっと驚かされてしまいました。グラウンドは奥まったところにあり、礼拝堂の横を通って体育館の向こう側にあるのが目に入った時の驚きは、正直なところ、衝撃的とまで言ってもいいものでした。グラウンド全体の広さが、小学校のグラウンドかなと思わせるほどしかないのです。実際、部員たちは200m2レーンしかないトラックを使ってトレーニングをしていました。私をもっと驚かされたのは、200m + 100mのトレーニングや150mのスピード練習の時でした。カーブのところでは、減速ぎみにしか走れないのです。県内の高校の中では最も狭いグラウンドとしか思えないような練習環境の中で、よくこんなにも活躍しているものだと思わずにはいられませんでした。

もう一つ感じたことは、中学校で活躍していた選手を集めた学校ではないということです。私立の強豪校の多くが中学校で既に活躍している選手を勧誘しているのに対して、光ヶ丘女子高校はそうではないと見受けられました。短距離パートの動き作りを見ていて、他の選手に比べると習得がまだまだだと思われる選手が見受けられたのです。今までに訪問した私学の強豪校では、ほとんど動きがそろっていました。大沼先生によれば、陸上部は校内の運動部の中で強化指定の部に入っているそうですが、現在活動している部員の中では中学時代に目ざましい活躍があったのは数名だけとのことでした。

訪問したのは平日でしたので、全くもって普段の練習を見させていただくこととなりました。4時少し前に始まって6時20分あたりで練習は終了。特に追い込んだようなハードなトレーニングでもありませんでした。それでも西三河支部で常に総合で優勝争いを演じているわけですから、そこにはそれなりに理由があります。わずか1回の訪問ではありましたが、そこで私が感じたことを報告します。

一つめは何と言っても、部活全体の雰囲気です。非常に落ち着いた雰囲気の中で、トレーニングが行なわれていました。女子ばかりとなると、キャッキョッとやかましく落ち着きのない感じになるような気がするのですが(偏見でしょうか)、そんな雰囲気はみじんもありませんでした。黙々とするというのもまた違うなごやかな雰囲気のなかで、練習メニューの一つ一つの意味をしっかりとおさえた形でトレーニングが行なわれていたのです。自然と集中度が高まっているように見えました。長時間の練習ではなくとも、集中度の高さでトレーニングが実りあるものになっているのでしょうか。また、技術面でも練習の内容面でも、分からないことについて顧問の先生にしっかりと尋ねていたことも印象に残りました。大沼先生は、生徒の質の高さに随分助けられていますよとおっしゃっていましたが、たった1回の訪問でも、そのことは十分にうかがい知ることができました。



支え合う選手たち

二つめは、生徒の仲間意識です。長距離パートの中では、息のあがってしまった選手を他の選手が支える姿を見かけました。試合の会場では、テントから招集所に向かうときやスタートライン、ピッチに向かう時には「招集に行ってきます」「幅跳に出場してきます」という挨拶になり、終えて帰ってきた時には、「招集から帰ってきました」「記録は〇〇でした」という挨拶になり、自己新記録が出た時にはみんなで褒めたたえるという形になるのですが、これも仲間意識の強さがそうさせるのでしょうか。大沼先生が、うちは自己新記録が出る時には一斉に出るよとおっしゃっていましたが、これも仲間意識の強さがそうさせるのだと思いました。

三つめは、顧問の先生方の指導方針にふれがないうことです。長距離担当の浅岡齊先生によれば、走る距離は他の中学校より少ないとのことでしたが、タイムの設定等を考えればこれで十分だともおっしゃっていました。短距離・フィールド担当の大沼先生は、狭いグラウンドでも身体作りを徹底すれば勝つことができる。これは若い頃に大阪の有名高校に冬休みに通って得た結論だともおっしゃっていました。今年70歳だともおっしゃっていた中距離担当の杉戸忠治コーチも長年の教員生活で得た考えによって、信念をもって指導しておられるようでした。信念をもって指導される先生方と深い信頼関係で結ばれた選手たち。これもまた、強豪校と言われるゆえんです。



先生の話に耳を傾ける選手たち



身体作りに励む選手たち
(取材・文責 大西敏功)

ち合わせに入りました。昨年の反省を生かして、全国から集まる競技者が力を発揮しやすい競技運営を心掛けていきたいと思えます。

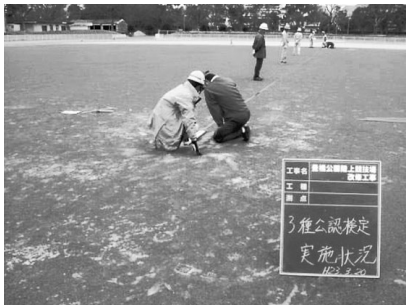
今年の競技委員会は、競技者の練習の成果が十分発揮できる競技者目線の競技会準備と運営をめざしています。そのためにも、大会申込の期日厳守や大会時の様々なルール厳守についての徹底をお願いします。一部の選手やチームのミスなどが、競技会の準備や当日の運営に悪影響をもたらし、他の選手やチームに迷惑をかけ、競技会運営の硬直化をもたらす場合もあります。良い競技会を行うためにも、各自の自覚を高めてもらうことが大切です。そのうえで、できるだけ多くの要望を取り入れて、競技者にとって魅力ある競技会を開催したいと思っています。ご協力よろしくをお願いします。

(安田 純久)

施設・用器具委員会

①瑞穂運動公園陸上競技場のフィールド内の芝生の広さがサッカーの関係で、106m×69mから106m×71mへ横幅がバック側2m拡大されました。3月16日に青木検定員・桑原技術役員で、改造検定を実施しました。

②豊橋市営陸上競技場の検定を3月20・21日に、青木検定員と岐阜の石原技術役員(桑原・平川技術役員は都合つかず、無理をお願いしました)で実施しま



豊橋市営陸上競技場の検定

した。東三河支部の牧田・夏目・小山田・中村さんをはじめ、多くの方にお手伝いいただきお世話になりました。

③日本陸連主催「国際自転車計測員研修会」が3月19日～21日に開催予定でしたが、東北地方の地震関係で延期されました。7月16～18日に延期開催されます。B級の桑原と新規C級資格取得の平川が参加します。平川は陸連の配慮で特別参加です。

④名古屋ウィメンズマラソンのコースがほぼ決まり、7月の本検定に向けて本格的に日本陸連と連携しながら準備に入っています。次回に報告の予定です。

⑤第1回施設用器具委員会を5月13日(金)に協会事務所で開催しました。各陸上競技場の諸問題を中心に1時間半にわたり情報交換をして、内容の濃い会議になりました。主な内容を報告をさせていただきます。

出席者

青木、平川、江藤、秦、黒部、吉越、釦持、田嶋、八田伊藤、小山田、太田、澤辺、中村

内容

1. ルール修改正の確認について(青木)
2. 検定スケジュールについて(青木)
3. 各陸上競技場の諸問題について

一宮：スタプロが走路を傷めてしまう。ピンの長いものを県で購入してもらえないので、運搬車を含めて尾張支部で購入して対応せざる得なかった。ハンマー用の囲いネット購入の予定。

知多：練習用ハードルを購入して、大会用ハードルを使用させない方針がうまくいっている。検定に向けてトラック全面改修と規格にあったハンマー投用囲いを要求している。

刈谷：ハードル練習でねじがゆるんで困っている。練習専用ハードルを決めたい。投てき練習禁止で苦情あり。

安城：トラックの全面改修ができた。用器具・備品の管理が不十分。雨が降ると水はけが悪い。特に踏切り板のボックスの中。「1、2レーン走行禁止」等管理運用面で問題が多い。

半田：2種から3種に格下げしての公認更新ができたが、不十分な所を今後国の補助との関係で整備したい。

豊橋：トラック全面改修の完成。写真判定装置の更新ができた。マンホールに水が入り電気配線、コンセントに影響した。写判カメラの保護のための囲いの検討。静岡の競技運営コンピューターシステムを導入している。

豊川：新設3種公認として本年度競技場完成予定。写真判定装置の要望をしている。

豊田：昨年、写真判定装置の更新。今年度、公認継続検定に向けて整備したい。

岡崎：今後の方向性が見えない。旧規格の用器具を使用している事がある。中学新人大会で手動計時をしている現状である。

田原：当初は公認をやめる方向でいたが、関係者の努力で公認継続ができた。写真判定装置の導入を要望している。

瑞穂：新ハードルの故障が多いので、全部修理した。外で保管することを想定していないので、今後カバーで対応する。大会後の器具の整理が不十分である。特に中学の大会時に多い傾向。お互いに配慮したい。ゴールタイマー接続の問題。コンピューターのネットワークの不具合があり、調査中。

(青木 実)

審判委員会

平成23年度も競技会が始まり、全国大会への予選会も県大会、東海大会へと進んでいる最中です。審判員の方々には競技会の審判業務にご協力いただき感謝しています。

平成23年度は全国大会として、昨年に続き日本ジュニア・ユース大会が10月に控えています。また、名古屋国際女子マラソンからマラソンフェスティバルに衣替えし、3月に3万人規模の大会が行なわれます。さらに、8月には日・韓・中親善大会と東海選手権があります。愛知陸協も全力を挙げて本番に備えていきます。そして、普段の競技会から全国大会を意識した審判業務を心がけるようお願いいたします。

平成23年度は新たに35名の方が公認審判員の仲間入りをしました。ご指導をよろしく申し上げます。

平成23年度の第1回B級公認審判員取得講習会を5月22日に名古屋工業大学で行ない、31名が合格をしました。これから実習を行なう予定です。ご指導よろしく申し上げます。また、第2回を10月30日(会場未定)に行なう予

定です。多くの方が受講するように、案内、お知らせをお願いします。教え子、同僚などに勧めて頂き、若い力を育てていきたいと思ひます。

全国大会に向けて普段から審判の服装に気をつけていただき、よりよい競技会になるようお願いします。

最後に、毎回お願いをしています審判調査はがきを必ず出すように重ねてお願いします。

(榊原 茂)

選手強化委員会

平成23年度強化委員会行事は下記の通り派遣行事、合宿、教室・練習会、指導者養成の4つの部門行事を予定しています。24年度岐阜国体・25年度東京国体から種目の変更がありました。国体は原則2年で種目が見直されます。競技種目は別表の通りです。

平成21年度より各都道府県で毎年実施することになった日本陸連主催のクリニックは、本年度U-12(小学生)対象で開催します。

<派遣行事>

第66回国民体育大会(山口県)10月7日(金)~11日(火)
第42回ジュニアオリンピック(横浜)10月28日(金)~30日(日)
第27回スーパーレディース駅伝(福井県)

11月12日(土)~13日(日)

第30回都道府県女子駅伝(京都府)

平成24年1月12日(木)~15日(日)

第17回都道府県男子駅伝(広島県)

平成24年1月20日(金)~23日(月)

<代表、代表候補合宿・練習会行事>

第1回国体選手合宿(半田・瑞穂)8月28日(日)・29日(月)
第2回国体選手合宿(知多)9月17日(土)・18日(日)
国体駅伝合宿(長野県富士見)8月25日(木)~28日(日)
第1回都道府県駅伝合宿(瑞穂北)12月25日(日)~28日(水)
第2回都道府県駅伝合宿(瑞穂北)1月4日(水)・5日(木)
国体強化指定選手投擲合宿(豊橋)12月17日(土)・18日(日)
国体強化指定選手短・跳・障・競歩合宿(半田・内海)

12月23日(金)~25日(日)

国体強化指定選手棒高合宿(中京大)12月24日(土)~27日(火)

国体強化指定選手長距離合宿(瑞穂北)12月25日(日)~28日(水)

国体強化指定選手短・跳・障・競歩練習会(瑞穂北)1月14日(土)

国体強化指定選手投擲練習会(中京大)1月15日(日)

国体強化指定選手投擲練習会(中京大)1月29日(日)

国体強化指定選手短・跳・障・競歩会練習(瑞穂北)2月11日(土)

国体強化指定選手投擲練習会(中京大)2月12日(日)

国体強化指定選手短・跳・障・競歩練習会(瑞穂北)3月3日(土)

国体強化指定選手投擲練習会(知多)3月4日(日)

国体強化指定選手棒高合宿(中京大)3月21日(水)~24日(土)

全国高校総体練習会(瑞穂)7月10日(日)

国体リレー練習会(瑞穂北等)2回

ジュニアオリンピックリレー競技県代表練習会(瑞穂北等)4回

<陸上競技教室・練習会>

JAAFアスリート発掘プロジェクト U-12クリニック

11月20日(日)(瑞穂)

競歩教室:4月から各月の第1土曜日に開催(9回)(瑞穂運動公園内)

<指導者養成>

C級コーチ取得派遣 後藤 賢二(名古屋西高)、岡戸

文一(名南工高校)

第67・68回(2012岐阜・2013東京)国体種目

種別	種目等	種別	種目等
成年男子	100m	成年女子	100m
	400m		400m
	800m		800m
	110mH		5000m
	400mH		400mH
	3000SC		10000mW *1
成年男子	10000mW	成年女子	棒高跳
	走幅跳		走高跳 *1
	走高跳		三段跳
	やり投		ハンマー投
	ハンマー投		
少年男子A	100m	少年女子A	100m
	400m		400m
	5000m		3000m
	110mH		100mH
少年男子A	走幅跳	少年女子A	走幅跳
	三段跳		ハンマー投
	砲丸投		
	やり投		
少年男子共通	800m	少年女子共通	800m
	5000mW		棒高跳
	走高跳		砲丸投
	棒高跳		やり投
	円盤投		
少年男子B	200m	少年女子B	200m
	3000m		1500m
	110mJH		100mYH
	走幅跳		走幅跳
	砲丸投		
成年・少年共通男子	400mR	成年・少年共通女子	400mR

*1:成年女子10000m競歩および走高跳には、少年女子Aからのエントリーができる

(北村 肇)

記録委員会

オリンピック等国際大会には代表を欠かしたことがない名古屋国際女子マラソンは、未曾有の東日本大震災の影響により中止となりました。来年は、女子のみの大会として、世界最大の15000人の参加を旨とした名古屋ウィメンズマラソンとして再スタートが決定されました。成功に向けて忙しい準備の1年になりそうです。

記録の整理は暦年で処理します。したがって1月から3月に生まれた新記録は次年度に入ってから報告となります。4月からはトラック&フィールドのシーズンに入り、すでに20を越す競技会の結果が各支部の記録担当者より報告され、順調に日本陸連へ記録公認申請を終えました。

トラックシーズン入り早々、市川華菜選手(中京大)は100m、200mで走るたびに県新記録を出し、さらにゴールデンランプリ川崎(等々力)では、4×100mR(4走)で日本新記録を樹立しています。今夏のテグ世界選手権の代表目ざしてさらに活躍して欲しいと思ひます。

毎年のことですが、近年、県外の競技会への出場が多くなっています。事務局から県外出場認知書を添付して出場していると思ひますが、必ず結果を報告してください。

◎5月までに更新された愛知県新・タイ・最高記録等
愛知新記録

女子 100m 11.58 (1.3) 市川 華菜 (中京大)
平成23年度東海学生春季競技会 (知多) 4月10日
11.43 (2.0) 市川 華菜 (中京大)
第45回織田記念国際競技大会 (広島広域) 4月29日
200m 23.63 (0.7) 市川 華菜 (中京大)
第27回静岡国際競技大会 (小笠山) 5月3日

高校新記録

男子 10km 29.42 神野 大地 (中京大中京)
29.48 小島 秀斗 (豊川工)
29.49 西尾 尚也 (豊川工)
第33回読売犬山ハーフマラソン (犬山) 2月27日
女子 800m 2.09.07 竹内 麻里子 (中京大中京)
第65回愛知県高等学校総合体育大会
名古屋南支部予選会 (瑞穂) 4月30日

日本新記録

女子 4×100mR 43.39 日本 (北風・高橋・福島・市川華菜 (中京大))
ゴールデングランプリ川崎 (等々力) 5月8日
記録公認申請について

昨年と大きな変更はありませんが、中学生・高校生のクラブ登録者の所属学校、学年を報告してください。近々、記録委員会より各クラブに調査を依頼する予定です。以下に記載した各書類の提出がないと、愛知陸協としては公認記録として認めることができません。

以下、記録公認申請の必要書類
大会プログラム8部 (6部) 内1部は訂正プログラム
成績一覧表 (リザルト) 8部 (6部) …トラック、フィールドとも予選・準決勝・決勝の全記録を記載した一覧表 (A4版以上の用紙)
フィールド原票2部 (2部) …跳躍、投てき種目の全試技

ホープさん⑬

すみ くひろ
墨 訓熙 君 (起工業高校3年)



県総体での一投

墨訓熙君の昨シーズンの主な成績は、夢であったインターハイにハンマー投で出場し、58m09の自己ベストで9位。初めての国体は、期待に応えられず56m36で13位。優勝を狙っていた日本ユースでは、57m33で3位。そして、これらの悔しさをバネに迎えた東海新人では、みごと61m62で優勝することができた。この1年で彼は飛躍的に成長し、驚くほどの成績を収めた。

そんな墨君だが、中学時代は当初柔道部に所属しており、陸上競技に出合ったのは、なんと中学1年生の冬。恩師に「体がデカイからやってみろ」と言われて始めたのがきっかけである。そんな些細なきっかけでスタートした陸上だが、砲丸投で全日中に出場し、13m75で17位であったというので、また驚きである。当時から本校の練習に参加していた墨君は、先輩たちの強さを近くで

感じ、投てき競技の楽しさをさらに知ったようだ。

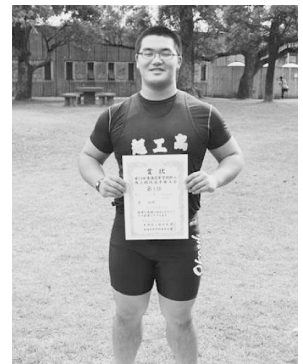
墨君の魅力は、何と言っても彼の人物である。私からすると、ちょっと優しすぎるくらいだが、とにかく謙虚で素直である。だれからも好かれ、慕われている。最近やっと成績を残すことができるようになり、また、ジュニア・ユース強化指定選手にも選ばれて様々な合宿に参加するなど、周りの方々から多くの経験を積ませてもらい、自信がついてきたように思う。アスリートの風格みたいなものが出てきたようにも感じている。

しかしここまで来るまでには、いろいろなことがあった。入学当初の彼は、身体的にも精神的にも技術的にも未熟な部分が多く、課題は山積みであった。例えば、柔軟性が非常に低い、なんとかなるだろうという甘い考え、力があるために上半身だけの投げになってしまい下半身がうまく使えない、などなど…その結果、2年の春には、足首のひどい捻挫をしてしまった。その後回復して夏、秋には活躍することができたが、また冬には、内転筋などの股関節まわり、腰部の故障などの怪我をしてしまった。しかし、このような失敗をしながら悩んでいくうちに、自分の特徴を知ることができ、今の彼ができ上がってきた。今年度は彼にとって高校最後のシーズン。目指すはもちろん、インターハイ優勝・国体優勝・日本ジュニア優勝である!!

今まで、彼がどんなに良い記録を出そうとも「起工業に、強い選手はいない」と言い聞かせてやってきた。持ち前の謙虚な気持ちに、積極性が加わってきた墨君からは、無限の可能性を感じる。今シーズンの活躍を期待している。

最後に、本人のコメントを紹介させていただきます。

冬期の練習は、主にウエイトトレーニングやジャンプトレーニングなどの足腰の強化を行いました。また、多くの合宿に参加して、ビデオなどで、自分のターンの分析を行い、スムーズでロスの無い投げを目ざして練習しました。今シーズンは、1投目から積極的に記録を狙うことを目標として、高校ハンマーの頂点を狙っていきたいと思います。



東海新人優勝

を記載した記録用紙。(A4版に縮小可)
 気象状況票(コンディション)(1部)…競技中の1時間
 毎の気象状況を記載した用紙
 ()内の提出数は支部主催競技会です。(〇〇支部記録会等)
 報告…競技会終了後2週間以内。

◎2010年記録集の訂正

- P30 ジュニア円盤投 10位を37.14 白石健太②名古屋
高アジアインターシティ台北7.29に
- P51 円盤投 9位に37.14 白石健太②名古屋高アジア
インターシティ台北7.29を挿入
9位を10位・10位を削除
- P69 100m 学年の訂正 2位・2を3に、4位・3を2
に訂正。
- P73 4種競技 所属の訂正 5位・高針台を香流に訂正
- P73 4年50m 5位 7秒78 松尾健永 を7秒67に・
順位 5位から1位に
1位から4位を2位から5位に訂正、5位・藤田源
貴を蔵田源貴に訂正。

(岡田 武彦)

女性委員会

平成23年度の愛知陸協の事業は、競技日程にも挙げら
 れているように東海大会や全国大会と名古屋ウィメンズマ
 ラソンがあり、多忙を極める年になります。女性委員会は、
 その中で果たすべき役割を再検討し、活動していきたいと
 考えています。

女性委員会を立ち上げた目的は、「女性審判員を増やし、
 育てること」でした。立ち上げから5年が経過した現在で
 は、委員会のメンバーは他の委員会に必要とされ、その委
 員会のメンバーとして活動に参加をしています。また日々
 の大会の審判においても、女性が与えられた仕事をスム
 ーズにこなし、信頼を得て各委員会のメンバーに委嘱をさ
 れています。少しずつですが、女性委員会の目的に近づい
 ていると思っていました。しかし、昨年開催した日本ジュ
 ニア・ユース選手権大会においては、日本陸連より「女性競
 技者に関わる部署については、もっと女性審判員を入れて
 ください。女性が少ないです」との指導を受けました。そ
 して、本年度開催予定の名古屋ウィメンズマラソンにつ
 いては、現在のところ女性審判員の出席予定者数が少なく、
 必要な部署に配置できない状態です。これを思うと、ま
 だまだ「女性審判員を増やし、育てる」という目的を達成
 するには、ほど遠い現状だと痛感しました。

今年度の女性委員会は、「大会を運営するために、ある
 いは女性競技者をサポートするために自分達は必要な存在
 である」ことを再認識して活動していきたいと考えています。
 大会時の審判員確保には、地道な努力が必要です。日々の
 大会において、部署間をこえて審判どうしのコミュニケー
 ションをはかり、大会参加への協力を呼びかけたいと思
 います。また、近年出席の少ない女性審判員の方には、直
 接電話などで大会参加への協力をお願いしたいと思います。

女性競技者のサポートに関しては、昨年実施した「都道
 府県対抗女子駅伝応援バスツアー」の継続実施と、新たな
 試みとして、「愛知レディース陸上競技会における女性競
 技者による表彰プレゼンター」と「国際大会に参加した
 ことがある経験豊かな女性競技者による講演会」等を実施
 し、女性競技者の競技生活の参考や励みにしていただ
 ければ良いと考えて検討しています。(脇田 千鶴)

年誌資料・広報委員会

愛知陸協ホームページの「広報」の項目をご覧だけ
 ましたでしょうか。広報誌の第1号から最新号まですべて見
 ることができますので、これからもぜひご活用ください。

今年度も下記の通り年4回(22~25号)発行の予定で
 す。この春、広報委員が半分近く交代しました。よりよい
 広報誌をみざして頑張ってもらいますので、多くの方
 からのご意見・ご要望や情報をお待ちしています。1ペ
 ージ掲載の陸協事務所へご連絡ください。

平成23年度 年誌資料・広報委員会年間活動計画

月	計画内容	具体的内容
平成23年 4	・情報収集	・情報収集と第22号執筆依頼 ・収集原稿の整理
5	・年誌資料・広報委員会① ・情報収集	・情報収集 ・第22号の原稿整理及び 編集作業 ・委員会②開催依頼
6	・編集会議①② ・「愛知陸協広報」第22号発行 ・年誌資料・広報委員会②	・原稿校正と印刷所へ原稿提出 ・第22号発送事務 ・第23号編集計画について協議
7	・情報収集	・情報収集と第23号執筆依頼 ・収集原稿の整理
8	・情報収集	・情報収集 ・第23号の原稿整理及び編集 ・委員会③開催依頼
9	・編集会議①② ・「愛知陸協広報」第23号発行 ・年誌資料・広報委員会③	・原稿校正と印刷所へ原稿提出 ・第23号発送事務 ・第24号編集計画について協議
10	・情報収集	・情報収集と第24号執筆依頼 ・収集原稿の整理
11	・情報収集	・情報収集 ・第24号の原稿整理及び編集 ・委員会④開催依頼
12	・編集会議①② ・年誌資料・広報委員会④	・原稿校正と印刷所へ原稿提出 ・第24号発送準備 ・第25号編集計画について協議
平成24年 1	・「愛知陸協広報」第24号発行 (1月1日発行) ・情報収集	・情報収集と第25号執筆依頼 ・収集原稿の整理
2	・情報収集	・情報収集 ・第25号の原稿整理及び編集 ・委員会⑤開催依頼
3	・編集会議①② ・「愛知陸協広報」第25号発行 ・年誌資料・広報委員会⑤ ・今年度の反省と次年度 の計画立案	・原稿校正と印刷所へ原稿提出 ・第25号発送事務 ・今年度の編集の反省 ・次年度(26~29号)年 間編集計画について協議 ・情報収集と執筆依頼

「愛知陸協広報」22~25号編集計画

号数	発行月	編集内容
「愛知陸協広報」 22号	6	<ul style="list-style-type: none"> ・会長及び理事長のこたば ・専門委員会報告及び今年度の活動方針 ・4支部の活動状況及び今年度の活動方針 ・関係団体の活動状況 ・競技会報告(国体選考、東海学生、 県高校総体、県マスターズ、土曜記 録会等) ・理事会等会議報告 ・愛知陸協22年度収支決算報告 ・慶弔報告 ・連載「ホープさん」⑩ 「クラブ紹介」⑩「学校紹介」⑫ 「陸上競技場めぐり」③

陸上競技場めぐり③ 新装なった豊橋陸上競技場

昭和24年11月、焼野原になった旧陸軍練兵場跡地に、戦後復興事業として「若者にスポーツを」と野球場、陸上競技場を建設することになった。ガレキを手押車(トロッコ)で運び、多くの人々を動員して石炭ガラのシンダートラックが造られてから半世紀、多くの名選手を育ててきた。

陸上競技場は、平成8年豊橋陸協役員のご好意により待望久しい全天候型ブルーの明るいトラック、電気計測装置を備えた公認3種陸上競技場が完成した。期待に応えた多くの小中高校生の活躍は目覚しく、新記録が続出し、東三河の第二黄金時代を築いてきた。その後15年の歳月を経て、トラックも施設器具もあちらこちらに傷みが生じ、競技役員は多くの苦労を積み重ねて大会を運営してきた。

平成23年3月に全天候型陸上競技場の大改修を終えた。全面張り替え、施設器具の新設、補充が行なわれ、目にも鮮やかなブルートラックが完成した。改装記念事業になった「穂の国豊橋ハーフマラソン大会」が開催され、東日本大震災にもめげず、元気を出そう、楽しく走ろうと3500余名の方々が参加した。ボランティア活動にも支えられて募金活動に多くの賛同を得て、大成功のうちに素晴らしい大会を終える事ができた。

今後は正面スタンドの大改修、本格的な機能を備えた名実共に東三河No.1の競技場として県大会が開催できるよう、市当局に早期完成を要望していきたい。

豊橋陸上競技場概要

- 所在地 豊橋市今橋町4番地
- 竣工 昭和24年11月(第2種公認競技場)
- 改修 平成23年3月(第3種公認競技場)
- 主な施設 ナイター施設(4基)
- 電気計測機一式
- 男女3000mSC一式(男女兼用調整型ハードル)新設
- 記録集計コンピューターの採用
- 走高跳・棒高跳マット、ハンマー投サークルの新設



明るいブルーのトラック

(牧田 功)

「愛知陸協広報」 23号	9	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長のごとば ・専門委員会報告 ・4支部の活動状況 ・関係団体の活動状況 ・競技会報告(県高校定通、東海高校総体、東海地区国立、県・東海混成、小学生リレー、愛知レディース、愛知選手権、県中学通信・総体、日韓中、県ジュニア等) ・理事会等会議報告 ・競技会参戦及び観戦記(全国高校総体、全日中他) ・慶弔報告(協会会長表彰他) ・連載「ホープさん」⑰ 「名岐駅伝いまむかし」⑱ 「クラブ紹介」⑲「学校紹介」⑳
「愛知陸協広報」 24号	1	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長のごとば ・専門委員会報告 ・4支部の活動状況 ・関係団体の活動状況 ・競技会報告(県高校新人、国体、愛知ジャンプ、日本ジュニア・ユース、県小学生、県高校・中学駅伝、市町村駅伝、東海学生駅伝等) ・理事会等会議報告 ・競技会参戦及び観戦記(国体等) ・慶弔報告(秩父宮章他) ・連載「ホープさん」⑱ 「名岐駅伝いまむかし」⑲ 「クラブ紹介」⑳「学校紹介」㉑ 「陸上競技場めぐり」㉒
「愛知陸協広報」 25号	3	<ul style="list-style-type: none"> ・副会長ののごとば ・専門委員会報告 ・4支部の活動報告 ・関係団体の活動報告 ・競技会報告(駅伝カーニバル、新春ロード・競歩、名岐駅伝、読売犬山ハーフ、マラソンフェスティバル等) ・理事会等会議報告 ・競技会参戦及び観戦記(駅伝関係<全国高校、都道府県>・マラソン他)

「愛知陸協広報」 25号	3	<ul style="list-style-type: none"> ・慶弔報告(県体協他) ・連載「ホープさん」⑲ 「名岐駅伝いまむかし」⑲ 「クラブ紹介」⑲「学校紹介」⑲
-----------------	---	---

(新見 精三)

関係団体報告

小学生友の会

小学生友の会の活動

1 組織

今年度より下記のメンバーで小学生友の会を運営

- 代表・名古屋支部 石田 伸(東浦町立藤江小学校)
- 西三河支部 岩瀬 吉孝(西尾市立平坂中学校)
- 東三川支部 手嶋 修次(蒲都市体育センター)
- 尾張支部 西村 嘉二(一宮市立木曾川東小学校)

2 主な大会

- 6月26日(日) 県小学生リレー大会(瑞穂)
- 8月26日(金)・27日(土) 全国小学生陸上競技交流大会(日産)
- 8月28日(日) 東海小学生リレー競争大会(瑞穂)
- 11月3日(木) 県小学生選手権大会(瑞穂)
- 11月20日(日) JAAF U-12陸上教室(瑞穂)
- 12月17日(土) 県小学生長距離競技会(刈谷)
- 3月17日(土)・18日(日) 全国小学生クロスカントリーリレー研修大会(万博)

3 その他

東日本大震災の影響を受け、3月に予定されていた全国

小学生クロスカントリーリレー研修大会(万博)が中止となった。愛知県代表として出場予定だった「JAC あつみ」は優勝候補だっただけにたいへん悔やまれたが、今後の活躍に期待したい。



県長距離競技会優勝の「JAC あつみ」の子どもたち
(大矢 新吾・石田 伸)

中小体連

平成23年度 中小体連の活動について

平成25年に愛知で開催される予定の全日本中学校陸上競技選手権大会に向けて、少しずつ準備を進めております。競技面では、愛知全中出場者100名越えを目標に強化にあたります。一昨年の大分へは69名、昨年の鳥取へは66名の中学生が参加しておりますので、本年度の奈良、来年度の千葉で大きく弾みをつけ、愛知全中への参加者拡大へ向けて強化していきます。国体強化事業と連動する形で強化し、また、中学生対象の独自の強化策も立て、実施していく予定です。特にこの春に入学した1年生は、3年生の時に愛知全中を迎える学年であり、この学年の強化が特に重要となります。また、競技運営面では、中体連関係者が陸協主催の大会にできる限り多く参加することで、大会運営のノウハウを身につけていこうと考えています。我々中体連関係者が多くの大会を通して経験を積み、愛知陸協の皆様からのご支援をいただいて大会運営の力をつけるつもりです。中小体連、陸協という枠を越えて、「チーム愛知」が一つになって取り組めるような体制を整え、愛知全中を迎えたいと考えております。本年度は、東海総体が愛知で行なわれますので、まずはこの大会へ向けて力を結集させ、成功させたいと思っております。

本年度の主要な大会(主な県大会以上の大会予定として)は下記のとおりです。

愛知県混成競技大会	7月2日(土)・3日(日)	瑞穂
愛知県中学選抜混成大会	7月9日(土)	知多
全日本中学校通信陸上競技愛知県大会	7月18日(月)	瑞穂
愛知県中学校総合体育大会陸上競技大会	7月29日(金)・30日(土)	瑞穂
東海中学校総合体育大会陸上競技大会	8月10日(水)	瑞穂
全日本中学校陸上競技選手権大会奈良大会	8月19日(金)~22日(月)	奈良
愛知県ジュニアオリンピック陸上競技大会	9月19日(祝・月)	瑞穂
ジュニアオリンピック陸上競技大会	10月21日(金)~23日(日)	横浜
愛知県中学校駅伝大会	11月19日(土)	新城
全日本中学校駅伝大会	12月18日(日)	山口

(久米 裕朗)

高体連

○ 今年の県高校総体は、3日目が雨で20分間中断する事態がおきましたが、特に大きな問題もなく無事終了することができました。ちなみに翌週に行われた三重県大会は台風の影響で3日目の競技を途中で中断し、月曜日まで延ばしたそうです。

県高校総体の結果につきましては、別添の記録表および愛知県高体連のホームページをごらんください。

県総体の3日間を通して、東日本大震災のための義援金を募りましたところ、大変多くの方にご協力をいただき、12万5482円もの金額が集まりました。この義援金につきましては、全国高体連陸上部を通して被災地に届けていただきます。ご協力に感謝いたします。

○ 今年度の東海高校総体は、6月17日(金)~19日(日)の3日間、静岡県袋井市のエコパスタジアムで行なわれました。車ですと名古屋インターから約1時間30分、鉄道では新幹線で「掛川」まで行き、在来線で1駅戻った「愛野」が最寄り駅となり、東海新人戦の草薙に比べて比較的近くになりましたので、愛知からも多くの方に競技場にご来場いただき、選手の頑張っている姿にご声援を送っていただきました。そのおかげで愛知県勢は数多く入賞することができ、全国高校総体においても多数の活躍が期待できます。

○ 全国高校総体は、8月3日(水)~8月7日(日)までの5日間、「北の空君に無限の可能性」というスローガンのもと、岩手県北上市において開催されます。

震災の関係で当初開催も危ぶまれましたが、北上市は岩手県でも比較的内陸部にあるため、沿岸部ほどの甚大な被害は免れました。とはいえものの、競技場の走路に窪みができたり、スタンドに亀裂が入ったり、写真判定装置が落下したりと、少なからず被害があったそうです。また、予定していた宿舎も被害を受けたところが多く、場合によっては、同県の高校どうして相部屋をお願いするかもしれないと言われております。

そんな中、岩手の方たちの中には、自宅が被害にあったり、身内にご不幸があったにもかかわらず、インターハイを成功させるために、悲しみをこらえながら一生懸命働いている方もおられると聞いております。

そういったことを耳にしますと、われわれも少々の不便さは我慢して、協力できるところはしなければならぬと考えております。また、選手の皆さんは、そういった方々のおかげで競技ができることに感謝の気持ちを忘れないでいただきたいと思っております。(大島 修)

高体連定通部

今年度の活動について

全国大会開催に必要な補助金が、政府の事業仕分けの対象となり、不安な平成23年度のスタートとなった。今年で46回を数える大会は国立競技場開催にこだわってきたが、補助金がなければ他の競技場を考えなければならない。幸い補助金の減額だけで、遅ればせながら開催が4月20日(水)に無事決定し、関係者は胸をなでおろした。

全国大会の開催準備は遅れたが、愛知の全国大会出場選手選考会は6月12日(日)に予定通り知多運動公園陸上競技場で開催した。選手は3位入賞と標準記録突破を目ざした。6月22日(水)県教育会館で出場者の種目エントリーを決定した。7月13日(水)には名古屋市公会堂で愛知県選手団結成式が行なわれる。7月24日(日)にウェーブスタジアム刈谷で強化練習会が行なわれ、リレーの選抜チームが決定する。

全国大会は8月12日(金)~14日(日)に国立競技場で行われる。昨年は総合成績で入賞に手が届かなかったが、今年には愛知の復活を目ざしたい。

秋季大会は10月16日(日)に知多運動公園陸上競技場で開催する。

定通部は県大会・全国大会・秋季大会の3大会が1年間のスケジュールであるが、定通制高校で学ぶアスリートたちのために、活躍の舞台を整えたい。(松橋 政人)

学連

東海学生陸上競技連盟からの報告



東海インカレの市川選手

東海学生陸上競技連盟は昨年松本正之会長のNHK会長就任による学連会長職辞任の後、伊藤晃会長代行、杉田正明ヘッドコーチを中心とした体制で、日本のトップレベルの選手の輩出、さらにはユニバーシアード、世界選手権及びオリンピックで活躍できる選手の輩出を強化の方針としている。

5月には東海学生対校選手権大会(東海インカレ)が終了したが、総合力の高い中京大のみならず、最近では岐阜経済大学、至学館大学、愛知教育大学、浜松大学などが力をつけてきている。特に今年は男子における至学館大学、女子における愛知教育大学の活躍が目立った。

ここ数年来東海学連加盟校数・登録人数共に少しずつではあるものの増加傾向にあるが、最近の経済状況から高校生が地元の大学、近隣の大学に進学する受験傾向が強くなっていることも一つの要因だと考えられる。このような傾向の中、人材豊富な地元愛知県の高校生の受け皿となり、学生選手として育成していく事は東海学連各大学の重要な課題である。

昨年カナダ・モンクトンで開かれた世界ジュニア選手権に東海学連所属選手が3名(市川華菜・中京大学、鈴木亜由子・名古屋大学、安倍孝駿・中京大学)が出場し、女子200mで市川が8位入賞、女子5000mで鈴木が5位入賞、男子400mHでは安倍が銀メダルを獲得したが、出場者3名中2名は愛知県出身者である。(市川・岡崎城西高校出身、鈴木・時習館高校出身)

昨年日本選手権男子100mでは東海学連所属の学生選手が2名決勝に残るという活躍を見せたが、決勝進出の田口博崇(中京大学・名電高校出身)、杉本隆(中京大学・岡崎城西高校出身)とともに愛知県出身である。

また昨年の東海学連男子最優秀選手に選ばれた中京大学の中村明彦(十種競技・日本インカレ2位、東海学生記録樹立)も地元愛知県の選手(岡崎城西高校出身)である。

さらには今年の川崎ゴールデングラプリでは前述の市川華菜が女子日本チームのアンカーとして43秒39の日本新記録を樹立し、世界選手権代表の可能性が高くなっている。

このように東海学連においては地元愛知県出身の選手の活躍が目覚ましく、今後とも愛知陸協、高体連などと連携しながら強化を進めていく事が重要である。(本田 陽)

マスターズ陸上

心豊かな長寿社会への貢献役

平成23年度の初仕事は、これまで4期8年間会長を務められた千田俊樹会長が勇退されたことに伴う会長選任から始まりました。新会長には、理事全員一致により永田敏也副会長が昇任することに決定しました。

松本幸人副会長、佐野昭二理事長、四戸光男事務局長は留任となりました。佐野理事長は新たに副会長を兼務する

こととなりました。

役員一同、新たな気持ちで愛知マスターズ発展のため尽力してまいりますので、皆様の更なるご指導を賜りますようお願い申し上げます。

新メンバーによる初仕事は、第40回記録会から始まりました。朝早くから多くの参加者が集まりました。同時開催の小中学生の参加者が多く、競技時間が大幅に遅れ、参加者にはご迷惑をお掛けしましたが、皆様のご協力を得て無事終わることができました。将来の陸上愛好者を一人でも多くするために、小、中、高をはじめ、若い競技者に陸上競技を長く続けてもらうことも重要なことではないかと考えますので、できるかぎり多くの競技者に楽しんでいただけるよう運営を工夫していきたいと思っております。

年度内の一番大きな事業である愛知マスターズ選手権大会を5月8日(日)ウェーブスタジアム刈谷で開催しました。237人の選手が集まり、過去最多の参加者となりました。最近ウォーキングブームですので、今回から競技種目として競歩を復活させました。新分野からの会員獲得の一施策になるようPRに努め、速歩族に浸透できればと思います。

当日は好天に恵まれ、日本記録6、県記録24(大会記録との重複含む)、大会記録45(県記録との重複含む)が生まれました。今年、年齢クラスが1ランク上がった長谷川政子、山田博嗣、加藤敦子、碓井由紀子の日本記録保持者達が、この年齢クラスにおいても新記録を連発することが予想されます。

5月15日(日)には、三重県営陸上競技場で東海マスターズ選手権が開催されました。長谷川政子、碓井由紀子が日本新記録を出しています。今後ますますの活躍が期待されます。

5月22日(日)に開催された理事会で、最後の全国スポレク祭となる第24回全国スポレク祭栃木大会の愛知県代表選手として、永田監督以下男子14人、女子7人の選手が選考されました。強力な選手団が組めましたので、11月の大会で大きな成果が期待される所です。

(佐野 昭二)

愛知陸協 OB 会

前会長、故高橋公一氏の提案で協会の中にOB会が設立され、今年で13年目を迎えます。その間年々会員数が増加し、140名を越えるまでに発展してまいりました。これはひとえに会の主旨に賛同し、楽しく参加して下さる会員諸兄と各支部世話人各位のご協力の賜であります。

毎年、愛知選手権大会1日目の競技終了後、総会と懇親会を開催します。秋の日帰り旅行、一泊の新年懇親会などの行事を行ない、会員相互の親睦を深めています。また、競技会の大会役員として毎回多くの会員が参加し、大会の運営に貢献しています。

会員各自が健康に留意し、陸上競技の仲間として末長く、交流できる会としていきたいと願っています。

60才以上の皆さん、是非ご入会を!! 詳細は各支部世話人にお問い合わせください。

※世話人

國分一郎、平林栄治、竹内信雄、高木章治、村瀬雄一郎、伊藤紀久夫(名古屋支部)

小椋征弘、小島末広(尾張支部)

山内満、古久根啓夫(西三河支部)

柴田要吉、加藤春雄(東三河支部)

(村瀬雄一郎)

競技会報告

第66回国民体育大会選手選考競技会国体強化・普及競技会
2011年4月9日・10日
名古屋市瑞穂公園陸上競技場 名古屋市瑞穂公園北陸上競技場

※1位のみ

種目	記録	氏名	学年	所属	
100m	10.61	田中 星次		トヨタ自動車	
200m	21.58	三輪 将之	2	中京大	
400m	49.14	河室 裕貴	2	名古屋高	
800m	1.55.53	黒川 大地	3	日進西高	
1500m	3.59.57	小山 裕太	3	豊川工高	
5000m	14.41.03	小山 裕太	3	豊川工高	
110mH	14.11	吉岡 康典		愛知陸協	
400mH	52.63	山内 博貴	3	中京大	
3000mSC	9.32.20	平松 大輔	3	豊川高	
5000mW	21.39.57	香名 貴輝	3	豊川工高	
走幅跳	7.10	金田 純弥	M1	名古屋工業大	
三段跳	15.23	木村 友紀		愛知陸協	
砲丸投	10.33	阿部 真志		東海テカスロン	
円盤投	30.60	本間 伸也		豊田自動織機	
ハンマー投	46.10	石田 孝正		愛知陸上DeafClub	
やり投	57.66	八木 一憲	3	大府高	
4×100mR	40.80	掛川 真	1	名古屋高	
		河室 裕貴	2		
		掛村 将之	3		
		渡辺 将志	3		
4×400mR	3.21.28	伊東 雅哲	3	愛知学院大	
		宮本 和佳	2		
		高崎 健太	4		
		水野 航	3		
男子高校	砲丸投	15.20	越 寛将	3	至学館高
円盤投	44.73	越 寛将	3	至学館高	
ハンマー投	55.79	墨 訓熙	3	起工高	
男子A	走高跳	2.04	加藤 紀一	3	名古屋工業大
棒高跳	4.70	榎 将太	3	岡崎城西高	
男子B	走高跳	1.91	中村 仁	2	名古屋大谷高
棒高跳	4.60	橋本 佑輝	3	三好高	
男子C	110mJH	14.65	古元 翼	1	名古屋高
砲丸投	11.33	永井 宏典	1	豊田大谷高	

種目	記録	氏名	学年	所属	
100m	12.43	山田 恵里	3	中京大中京高	
200m	25.17	山田 恵里	3	中京大中京高	
400m	58.45	吉川 侑希	2	中京大中京高	
800m	2.14.52	竹内 麻里子	3	中京大中京高	
1500m	4.22.13	ワイナイナBムルギ	3	豊川高	
3000m	9.35.30	清田 真央	3	中京大中京高	
5000m	19.49.58	青戸 敦子		さかえクリニック	
100mH	13.83	山崎由加里		栄新薬	
400mH	1.01.39	浅岡加世子		トヨタ自動車	
棒高跳	3.20	高木 志帆	3	中京大中京高	
走幅跳	5.42	布施 和花	3	至学館高	
砲丸投	9.96	池田 恵理	3	中京大中京高	
円盤投	42.84	加藤 千枝	4	至学館大	
ハンマー投	40.99	辻本 ゆかり	3	長久手高	
やり投	41.61	三浦 萌	2	愛知学院大	
4×100mR	48.24	西川 彩乃	3	中京大中京高	
		山田 恵里	3		
		松井香保里	2		
4×400mR	4.00.28	森 佑紀那	2	中京大中京高	
		松井香保里	2		
		竹内麻里子	3		
5000mW	25.53.13	吉川 侑希	2	中京大中京高	
		森 佑紀那	2		
		桂	3		
女子A	走高跳	1.66	北島 菜璃	3	瑞陵高
女子B	走高跳	1.56	榑原小侑希	2	至学館高
女子C	100mYH	16.33	所 杏子	3	千種台中

第66回国民体育大会選手選考春季選抜競技大会決勝
2011年4月17日 名古屋市瑞穂公園陸上競技場

※1位のみ

種目	記録	氏名	学年	所属	
100m	10.77	田口 博崇	4	中京大	
400m	46.88	中野 弘幸	M1	愛知教育大	
110mH	14.03	飯田 将之		チームミスノ	
400mH	53.85	森下 創史	3	中京大	
棒高跳	5.00	近藤 清貴	2	中京大	
走幅跳	7.30	金田 純弥	M1	名古屋工業大	
砲丸投	12.54	小山祐一郎		密柑山	
ハンマー投	46.00	藤原 拓紀	3	至学館大	
やり投	65.85	下り藤 修大		小島プレス	
100m	10.94	寺田 健人	3	栄徳高	
400m	50.06	鷺見 建亮	3	名古屋大谷高	
5000m	15.17.61	岡田裕二郎	3	豊橋東高	
400mH	53.40	岡田 壮平	3	名古屋高	
走幅跳	6.97	青山 耕也	2	名古屋大谷高	
三段跳	13.42	塩澤 昂平	3	岡崎城西高	
円盤投	48.61	越 寛将	3	至学館高	
ハンマー投	55.89	墨 訓熙	3	起工高	
やり投	60.01	八木 一憲	3	大府高	
男子少年B	100m	11.03	掛川 真	1	名古屋高
3000m	9.13.25	森 敬喜	3	石巻中	
110mJH	14.94	三浦 成皓	1	名古屋高	
走幅跳	6.31	渡邊圭一郎	3	富士中	
砲丸投	12.19	永井 宏典	1	豊田大谷高	
男子少年共通	800m	1.57.05	加藤 大稀	3	瑞陵高
走高跳	2.00	糟谷 隆明	3	中京大中京高	
棒高跳	4.70	榎 将太	3	岡崎城西高	
男子J〇A	100m	12.00	寺島 航汰	3	北陵中
3000m	9.10.97	服部 潤哉	3	宮田中	
110mJH	15.45	岩崎 聖	3	東海中	
男子J〇B	100m	12.02	新美 泰地	2	東浦中
1500m	4.30.80	佐藤 巨	2	なごやクラブ	
110mYH	17.69	佐藤 佑	2	東海中	
砲丸投	9.17	井上 翼	2	千種台中	

種目	記録	氏名	学年	所属	
100m	12.68	近藤 希実	4	愛知教育大	
400m	56.58	木引悠起子	1	愛知教育大	
1500m	4.28.81	仙頭さゆり		豊田自動織機	
100mH	13.81	山崎由加里		栄新薬	
棒高跳	3.10	牛田智菜美	2	至学館大	
走幅跳	5.55	賀川 綾子	4	至学館大	
女子少年A	100m	12.39	山田 恵里	3	中京大中京高
400m	58.67	吉川 侑希	2	中京大中京高	
3000m	9.31.37	清田 真央	3	中京大中京高	
100mH	14.09	飯田 美咲	3	名城大附属高	
走幅跳	5.58	布施 和花	3	至学館高	
ハンマー投	43.05	辻本 ゆかり	3	長久手高	
女子少年B	100m	12.83	伊藤 南侑	3	とよた AC
1500m	4.41.62	鷺見 梓沙	3	杏掛中	
100mYH	14.89	萩原加奈子	1	豊橋南高	
走幅跳	5.30	石原 薫子	1	岡崎城西高	
女子少年共通	800m	2.17.82	竹内麻里子	3	中京大中京高
走高跳	1.60	杉浦 澄美	1	岡崎城西高	
棒高跳	3.00	松下 琴子	2	中京大中京高	
円盤投	40.15	近藤 瞳	3	津島北高	
やり投	43.34	高塚 裕子	3	名城大附属高	
女子J〇A	3000m	10.45.04	伊藤 美祥	3	古知野中
100mYH	15.72	柳瀬 理央	3	守山西中	
走高跳	1.50	津田 玲佳	3	栄中	
砲丸投	10.44	中村 彩花	3	豊橋陸上クラブ	
女子J〇B	100m	12.51	中野 真琴	2	豊橋東部中
1500m	5.01.27	山田 唯乃	2	逢妻中	
100mH	15.32	吉田 奈生	2	愛知淑徳中	
走幅跳	4.68	阿部 夏子	2	なごやクラブ	
砲丸投	9.48	浅井 結稀	2	富士中	
女子C	円盤投	21.15	栗田 万美	3	古知野中

第1回・第2回中京大学土曜競技会

平成23年4月16日(土)・5月28日(土) 中京大学梅村陸上競技場

第1回
男子

種目	記録	氏名	学年	校名
100m	10.84	米原 翔太	4	中京大
200m	21.29	米原 翔太	4	中京大
400m	48.96	星畑 朗人	3	中京大
800m	1.57.21	北島 寛也	1	中京大
1500m	4.07.62	吉田 士恩		OWLS
5000m	13.47.62	パトリック ムエンド		愛三工業
110mH	14.57	和戸 達哉	3	中京大
400mH	50.88	山内 博貴	3	中京大
4×100mR	41.02	波多野良平 中川 恵輔 三輪 将之 田口 博崇	3 3 2 4	中京大A
4×400mR	3.42.40	永井 翔也 坂 勇輝 森岡 誠也 浅野 裕貴	2 3 2 3	長久手高
走高跳	2.05	舟瀬 勇太	4	中京大
棒高跳	5.20	山本 聖途	2	中京大
走幅跳	7.27	下平 克宣		八十二銀行
三段跳	15.58	佐藤 賢一		信大こまくさAC
砲丸投	14.04	山元 隼	2	中京大
円盤投	46.22	山形 洋平		中京大クラブ
高校円盤投	35.21	永井 宏典	1	豊田大谷
ハンマー投	56.97	野中 直道	4	中京大
高校ハンマー投	47.81	阿部 仁志	3	豊田大谷
やり投	56.93	長瀬 卓也	2	岐阜経済大

女子

種目	記録	氏名	学年	校名
100m	12.32	桐山 智衣	2	中京大
200m	25.28	斎藤 結	3	中京大
400m	58.68	真柄美乃里	2	中京大
800m	2.19.33	桑子 栗	2	中京大
1500m	4.34.01	谷水 見圭	4	名城大
3000m	9.37.61	野村 沙世	4	名城大
5000m	16.46.07	浦川有梨奈	4	名城大
100mH	14.21	白井 怜子		濃飛倉庫運輸
400mH	1.03.52	石田 朋美		中京大
4×100mR	45.83	桐山 智衣 中尾 優里 斎藤 結 市川 華菜	2 1 3 3	中京大
4×400mR	3.55.18	真柄美乃里 桑子 栗 田中 美沙 斎藤 結	2 2 1 3	中京大A
走高跳	1.70	河澄 真子	3	中京大
棒高跳	3.00	渡邊ゆりか	3	中京大
走幅跳	6.03	中田 有紀		日本保育サービス
三段跳	12.08	小川 詩織		愛知アスリート
砲丸投	13.34	徳岡 沙織	4	中京大
円盤投	51.54	江島 成美		チームズ/アスレティック
ハンマー投	59.80	室伏 由佳		ミズノ
やり投	43.05	仰 梨江	2	中京大

第2回
男子

種目	記録	氏名	学年	校名
100m	10.79	米原 翔太	4	中京大
200m	21.80	和戸 達哉	3	中京大
400m	48.98	和田健太郎	3	中京大
800m	1.57.61	田口 祐貴	2	浜松大
1500m	3.59.46	北島 寛也	1	中京大
5000m	13.52.08	ミカジェル		トヨタ紡織
10000m	29.40.79	ジャクソン クアライ	4	奈良産大
110mH	14.36	古川裕太郎		小島プレス
400mH	50.91	今井 順也		岐阜AC
4×100mR	40.75	三輪 将之 米原 翔太 屋貝 博文 中川 恵輔	2 4 3 3	中京大A
4×400mR	3.21.74	中西 佑輔 浦井 駿吾 岡 長太郎 柳本 拓也	3 1 1 4	中京大
走高跳	2.05	舟瀬 勇太	4	中京大
棒高跳	5.00	松澤 ジアン 成治	2	中京大
走幅跳	7.37	松下 元	4	浜松大
三段跳	15.55	佐藤 賢一		信大こまくさAC
砲丸投	14.26	山元 隼	2	中京大
高校砲丸投	10.35	中定 慎	1	岡崎城西高
円盤投	42.41	山形 洋平		中京大クラブ
高校円盤投	28.79	本部 拓也	3	岡崎城西高
ハンマー投	60.66	久保 浩司		中京大クラブ
高校ハンマー投	50.18	谷池 功樹	3	平塚商高
やり投	59.58	荒木 嵩裕		ASSA-TC

女子

種目	記録	氏名	学年	校名
100m	12.33	桐山 智衣	2	中京大
200m	26.64	征矢 萌唯	3	至学館高
400m	59.13	伊藤 亜依	1	至学館大
800m	2.15.95	片山 千裕	4	奈良産大
1500m	4.36.27	片山 千裕	4	奈良産大
3000m	10.22.15	鈴木菜見子		小島プレス
5000m	16.48.75	飯野はるか	2	名城大
100mH	13.96	山崎由加里		栄新薬
400mH	1.03.66	家田 知佳	3	至学館高
4×100mR	49.19	野村 真由 吉川有香子 征矢 萌唯 家田 知佳	1 3 3 3	至学館高A
走高跳	1.70	山中里花子	1	中京大
棒高跳	3.40	斉藤希望花	1	中京大
走幅跳	5.83	東方 彩稀	1	中京大
三段跳	11.29	船坂 知世	2	至学館大
砲丸投	13.55	中田恵莉子	1	中京大
円盤投	50.03	江島 成美		チームズ/アスレティック
ハンマー投	60.70	室伏 由佳		ミズノ
やり投	41.03	佐藤 愛	1	中京大

第77回東海学生陸上競技対校選手権大会
平成23年5月13日(金)～5月15日(日)
名古屋市瑞穂公園陸上競技場

※1位のみ

	種目	記録	氏名	学年	校名
男子トラック	100m	10.54	田口 博崇	4	中京大
	200m	21.05	屋貝 博文	3	中京大
	400m	46.80	中野 弘幸	M1	愛教大
	800m	1.55.39	久我アレキサンデル	4	岐経大
	1500m	4.06.59	久我アレキサンデル	4	岐経大
	5000m	14.50.46	長坂 公靖	4	愛工大
	10000m	31.14.32	長坂 公靖	4	愛工大
	110mH	13.96	和戸 達哉	3	中京大
	400mH	50.26	安部 孝駿	2	中京大
	3000mSC	9.11.63	増田 誠	3	中京大
	10000mW	45.33.63	尾上 雄基	3	中部学大
	4×100mR	40.47	中川 恵輔 三輪 将之 屋貝 博文 田口 博崇	3 2 3 4	中京大
	4×400mR	3.09.45	日比野陽平 平野 達也 上田 祐貴 中野 弘幸	4 3 M1 M1	愛教大
男子フィールド	走高跳	2.21 GR	衛藤 昂	S1	鈴鹿高専
	棒高跳	5.20	山本 聖途	2	中京大
	走幅跳	7.54	松下 元	4	浜松大
	三段跳	15.66	松下 元	4	浜松大
	砲丸投	15.03	山元 隼	2	中京大
	円盤投	41.37	山田 晃広	1	岐経大
	ハンマー投	59.80	野中 直道	4	中京大
	やり投	63.04	湧井 洸宣	3	中京大
混成	十種競技	7675 TUR GR	中村 明彦	3	中京大

TUR：東海学生新記録 GR：大会新記録
最優秀選手 中村明彦 中京大 十種競技

	種目	記録	氏名	学年	校名
女子トラック	100m	11.52 GR	市川 華菜	3	中京大
	200m	23.89 GR	今井沙緒里	3	至学館大
	400m	56.00	齋藤 緒	3	中京大
	800m	2.13.48	愛敬 世菜	3	愛教大
	1500m	4.27.31	谷水 見圭	4	名城大
	5000m	16.19.37	野村 沙世	4	名城大
	10000m	33.34.20	小田切亜希	3	名城大
	100mH	13.55 TUR GR	桐山 智衣	2	中京大
	400mH	59.47	齋藤 結	3	中京大
	3000mSC	10.37.51 GR	広井 佑紀	4	名城大
	10000mW	49.36.15	大和 千秋	3	中部学大
	4×100mR	46.91	加藤 里奈 後藤 香奈 後藤 菜月 今井沙緒里	2 2 4 3	至学館大
	4×400mR	3.46.29	塩野谷幸依 安保 真衣 作野 捺希 今井沙緒里	2 2 2 3	至学館大
女子フィールド	走高跳	1.74	堂之下 藍	2	愛教大
	棒高跳	3.70	斉藤希望花	1	中京大
	走幅跳	5.87	桐山 智衣	2	中京大
	三段跳	11.91	大道 爽香	1	愛教大
	砲丸投	14.04	徳岡 沙織	4	中京大
	円盤投	46.58	片嶋 佑果	4	愛教大

男子	ハンマー投	52.34	加藤 晴香	3	中京大
	やり投	44.40	三浦 萌	2	愛学大
混成	七種競技	5463 TUR GR	桐山 智衣	2	中京大

TUR：東海学生新記録 GR：大会新記録
最優秀選手 桐山智衣 中京大 七種競技

第65回愛知県高等学校総合体育大会陸上競技大会
兼秩父宮杯第64回全国高等学校陸上競技対校
選手権大会東海地区予選会愛知県大会
2011年5月20日(金)～22日(日)名古屋市瑞穂公園陸上競技場

※1位のみ ※太字の斜体は、大会新

	種目	記録	氏名	校名
男子トラック	100m	10.81	西垣 佳哉	中京大中京
	200m	21.85	河室 裕貴	名古屋
	400m	48.73	植村 英佑	滝
	800m	1.56.44	黒川 大地	日進西
	1500m	3.56.06	米谷 卓也	豊川
	5000m	14.00.95	Karemi Jeremiah Thuku	豊川
	110mH	14.63	里地 勇飛	中京大中京
	400mH	52.42	岡田 壮平	名古屋
	3000mSC	9.26.09	平松 大輔	豊川
	5000mW	21.21.65	杵名 貴輝	豊川工
	4×100mR	40.57	掛川 真裕 河室 裕貴 掛村 将志 渡辺 将志	名古屋
	4×400mR	3.16.72	佐藤 晃浩 松本 優一 清水 陽平 里地 勇飛	中京大中京
	男子フィールド	走高跳	2.06	糟谷 隆明
棒高跳		4.90	榎 将太	岡崎城西
走幅跳		7.13	鈴木 舜也	成章
三段跳		14.28	塩澤 昂平	岡崎城西
砲丸投		15.55	越 寛将	至学館
円盤投		43.16	小出 拓実	名古屋
ハンマー投		56.86	墨 訓熙	起工
やり投		59.12	大島 知之	半田
八種	4935	青山 耕也	名古屋大谷	

総合

①中京大中京 63点 ②名古屋 59点 ③豊川 38.5点

トラック

①名古屋 42点 ②中京大中京 40点 ③豊川 35点

フィールド

①中京大中京 20点 ②岡崎城西 17点 ③名古屋 17点

	種目	記録	氏名	校名
女子トラック	100m	11.94	山田 恵里	中京大中京
	200m	24.57	山田 恵里	中京大中京
	400m	56.29	竹内麻里子	中京大中京
	800m	2.11.82	竹内麻里子	中京大中京
	1500m	4.26.27	清田 真央	中京大中京
	3000m	9.05.12	Wainaina Beatrice Murugi	豊川
	100mH	14.23	飯田 美咲	名城大附
	400mH	1.03.47	家田 知佳	至学館
5000mW	24.47.02	浜本 桂	千種	

女子トラック	4×100mR	48.16	西川 彩乃 山田 惠里 小嶋 梨菜 早川 有香	中京大中京
	4×400mR	3.51.09	山田 惠里 吉川 侑希 森 佑紀那 竹内麻里子	中京大中京
女子フィールド	走高跳	1.67	杉浦 澄美	岡崎城西
	走幅跳	5.83	布施 和花	至学館
	砲丸投	11.32	近藤 瞳	津島北
	円盤投	39.25	近藤 瞳	津島北
	やり投	43.19	高塚 裕子	名城大附
	七種	4266	各務 琴音	明和

総合

①中京大中京 78点 ②至学館 40点 ③岡崎城西 22点

トラック

①中京大中京 77点 ②千種 18点 ③津島 18点

フィールド

①至学館 21点 ②岡崎城西 15点 ③日進西 13点

理事会等会議報告

○理事会 23年5月20日(金)18時30分 教育会館

1 協議事項

- ①平成22年度一般概要報告(稲垣)
- ②平成22年度事業報告(外山・北村)
- ③平成22年度収支決算報告(清水)
監査報告(萬谷康幸)
- ④23年度事業計画(案)(外山・北村)
- ⑤平成23年度収支予算書(案)(清水)
- ⑥その他

2 報告事項

- ①平成23年度愛知陸協役員について(外山・稲垣)
- ②平成23年度要覧について(外山)
- ③日本ジュニア・ユース選手権大会について(外山)
- ④マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知について(外山)
- ⑤法人化準備委員会について(外山)
- ⑥各専門委員会の報告(各専門委員長)
- ⑦日本陸連評議員会(3月31日)報告(外山)
- ⑧愛知陸協会長表彰受賞候補者の推薦について(外山)
- ⑨愛知選手権大会選手権賞寄贈の依頼について(外山)
- ⑩その他

○評議員会 23年5月25日(水)18時 教育会館

1 議題

- ①平成22年度一般概要報告(稲垣)
- ②平成22年度事業報告(外山)
- ③平成22年度収支決算報告(清水)
監査報告(若松良一)
- ④平成23年度事業計画(案)(外山)
- ⑤平成23年度収支予算(案)(清水)
- ⑥愛知陸上競技協会参与の承認について(外山)
- ⑦役員の内年制度に関する事項の一部変更について(外山)
- ⑧平成23年度愛知陸協役員について(外山・稲垣)
- ⑨マラソンフェスティバルについて(外山)
- ⑩法人化について(外山)
- ⑪その他(各専門委員会) (稲垣 裕)

平成22年度 愛知陸上競技協会収支決算書

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

収入の部 113,985,023円
 支出の部 95,581,277円
 差引差額 18,403,746円

収入の部

単位:円

科目	予算	決算	差異
前年度繰越金	17,166,000	17,165,766	234
加盟金	19,221,000	20,258,405	△1,037,405
補助金	1,177,000	1,173,700	3,300
分担金	49,763,000	40,251,989	9,511,011
賛助金	350,000	350,000	0
交付金	7,571,000	6,943,210	627,790
広告料	200,000	200,000	0
参加料	18,588,000	20,940,900	△2,352,900
小学生友の会	625,000	529,000	96,000
雑収入	5,941,000	6,172,053	△231,053
合計	120,602,000	113,985,023	6,616,977

支出の部

単位:円

科目	予算	決算	差異
運営費	19,354,000	19,870,244	△516,244
事業費	82,412,000	73,363,068	9,048,932
競技会費	19,093,000	19,387,268	△294,268
共催事業費	36,800,000	27,908,752	8,891,248
派遣費	11,329,000	11,669,044	△340,044
強化費	10,500,000	9,914,747	585,253
強化合宿費	8,400,000	7,994,251	405,749
普及費	4,690,000	4,483,257	206,743
負担金	1,969,000	1,847,965	121,035
基本金	500,000	500,000	0
予備費	16,367,000	0	16,367,000
小計	120,602,000	95,581,277	25,020,723
次年度繰越金	0	18,403,746	△18,403,746
合計	120,602,000	113,985,023	6,616,977

編集後記

東日本大震災の影響がいろいろな場面に出ている中、新年度のシーズンが3ヶ月が過ぎました。世界陸上や来年のオリンピックを旨とした取り組みに期待しつつ、まずは支部や県での日々の練習や競技の積み重ねを大切にしたいと思います。

半分近く交代した委員で広報第22号が何とか発行できました。原稿を出してくださった方々、取材に応じていただいた団体の皆様などに深く感謝します。

今後の「広報」充実のためにも、多方面からのご意見・ご要望をお待ちしております。

編集委員

占部 輝之 大久保真理子 大西 敏功 小坂 拓
 榊原 英司 新見 精三 西垣 完彦 野口 一昭
 横田小百合